

あまのくらし部会 特別企画
バリアフリー映画を観よう!!

障害者が“自立生活”を選ぶ!

INDEPENDENT LIVING

インディペンデント
リビング

監督:田中悠輝 プロデューサー:藤仲ひとみ
撮影:辻野暉 / 若田まき子 / 田中悠輝
編集・構成:辻野暉 製作:ぶんぶんフィルムズ
制作協力:全国自立生活センター協議会 / 自立生活学習センター
助成:文化庁文化芸術振興費補助金 芸術文化振興事業 独立行政法人日本芸術文化振興会
全国自立生活センター協議会
2022 日本・韓国・台湾・中国・ドキュメンタリー ぶんぶんフィルムズ
bunbunfilms.com/film11



ぜんぶ抱えてワガママに生きる。

舞台は障害当事者が運営する自立生活センター。そこは“生きづらさ”を抱えた人が“自分らしさ”を取り戻す場所。

日時: 令和4年2月22日(火) 13:30~(受付開始13:00~)

場所: 中央北生涯学習プラザ大ホール

事前予約制!!

定員200名 定員になり次第締め切ります。

事前予約制！！

お申し込み・お問い合わせは、くらし部会のご所属の団体、
または下記までお願いいたします。

サポートセンターさくら

TEL : 06-6430-9225 FAX : 06-6491-3837

「インディペンデントリビング」

リスクを負っても手にしたい“自由”がある!!

自由を手にすることでしか、みつからない“自分”がいる。

物語の舞台は大阪にある自立生活センター。ここは障害当事者が運営をし、日常的に手助けを必要とする人が、一人で暮らせるよう支援をしている。先天的なものだけでなく、病気や事故などにより様々な障害を抱えながら、家族の元や施設ではなく、自立生活を希望する人たち。自由と引き換えに、リスクや責任を負うことになる自立生活は、彼らにとってまさに“命がけ”のチャレンジだ。家族との衝突、介助者とのコミュニケーションなど課題も多く、時に失敗することもある。しかし、自ら決断し、行動することで彼らはささやかに、確実に変化をしていく――。

体が動かなくても、想いが伝えられなくても、どこまでも“自分らしく”ありたい。

監督は自らも介助者として働く田中悠輝。障害当事者からの「自分たちの姿を撮って欲しい」という声を受け、自立支援の現場で3年にわたり撮影を続けた。彼らとの関わりを通して、自分自身の内に「障害者」という勝手な枠組があると気づいた監督が、その枠組を壊し、自分を、社会を、変えていこうと奮闘する人々を見つめ、“生きづらさ”を抱えた人たちが、“自分らしさ”を取り戻す瞬間とその輝きを映し出す。

【会場案内】

中央北生涯学習プラザ 尼崎市東難波町2丁目14-1

アクセス方法（バスの場合）

- ・ JR神戸線「立花」駅（上）から阪神バス15番「阪神尼崎」行き
「東難波町2丁目」下車。徒歩約5分
- ・ JR神戸線「立花」駅（下）から阪神バス43番-2「阪神尼崎」行き
- ・ 阪神電車「尼崎」駅から阪神バス13番「阪急塚口」行き
- ・ 阪急神戸線「塚口」駅から阪神バス13番「阪神尼崎」行き
にそれぞれ乗車、「尼崎総合医療センター」下車。徒歩約3分

